

水彩画教室「ヤマガラ」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

漢字では「山雀」と書きます 関東甲信の高原ではごく普通の野鳥で 平地の「スズメ」のように 佃煮にできるほどウジャウジャいます まさに「山の雀」です 特に雪が積もって 天然の餌が不足すると えさ台のヒマワリを狙って 早朝から夕方までひっきりなしに小鳥がやってきます その中でも一番よく訪れ 有る意味人なつっこいのがヤマガラです 黒い帽子に 白っぽい頬 それに明褐色の羽根色が 雪景色の中でも目立ちます 私ははがきサイズの水彩画に 30分以上かけることは稀なのですが この絵は特徴を忠実に描こうと思い 実に50分もかかりました



これが完成した絵です



1、くちばしとその周囲 ちょっとヒゲのような羽根があります



4、背中の風切羽 白い筋をうまく塗り残します



2、眼は非常に重要 最後に描きます まさに「画鳥点睛」



5、足は思いの外細いです 枝の先にちょこんととまった様子を



3、胸羽根のふわふわした質感も がんばって表現



6、お尻あたりのやわらかい羽根は 鉛筆で加筆しました